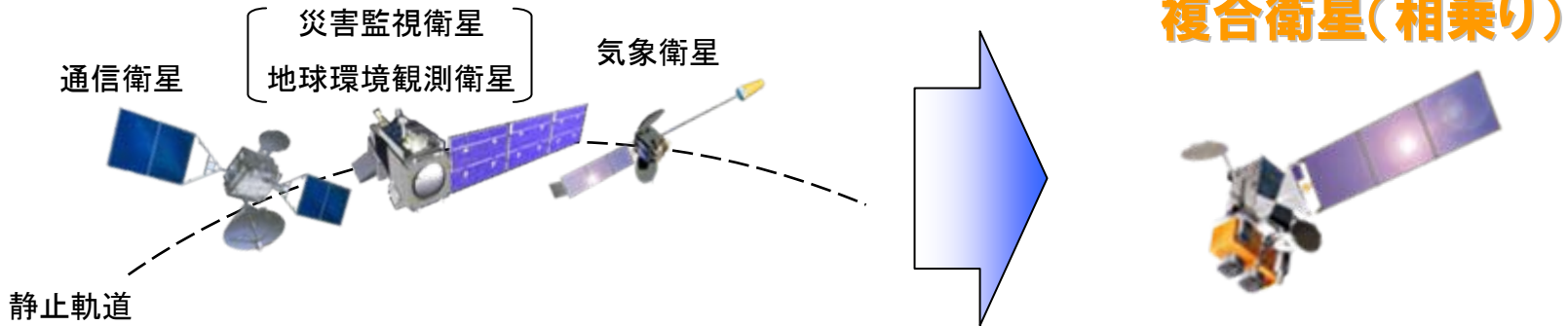


静止気象観測ミッションと他のミッションの相乗りの可能性



相乗りの条件

① ミッション要求の整合性

次期の気象ミッションの基本要件条件

軌道位置 (基本は東経140度)

周波数 (Ka、Kuバンド)^(注)

重量 (イメージャ:約300kg)

電力 (イメージャ:約300W)

姿勢検出精度 (1画素相当以下)

太陽電池パネル (片翼) 等

② スケジュール(予定)

意思決定 (平成20年夏)

製造開始 (平成21年度)

打ち上げ (平成26年度)

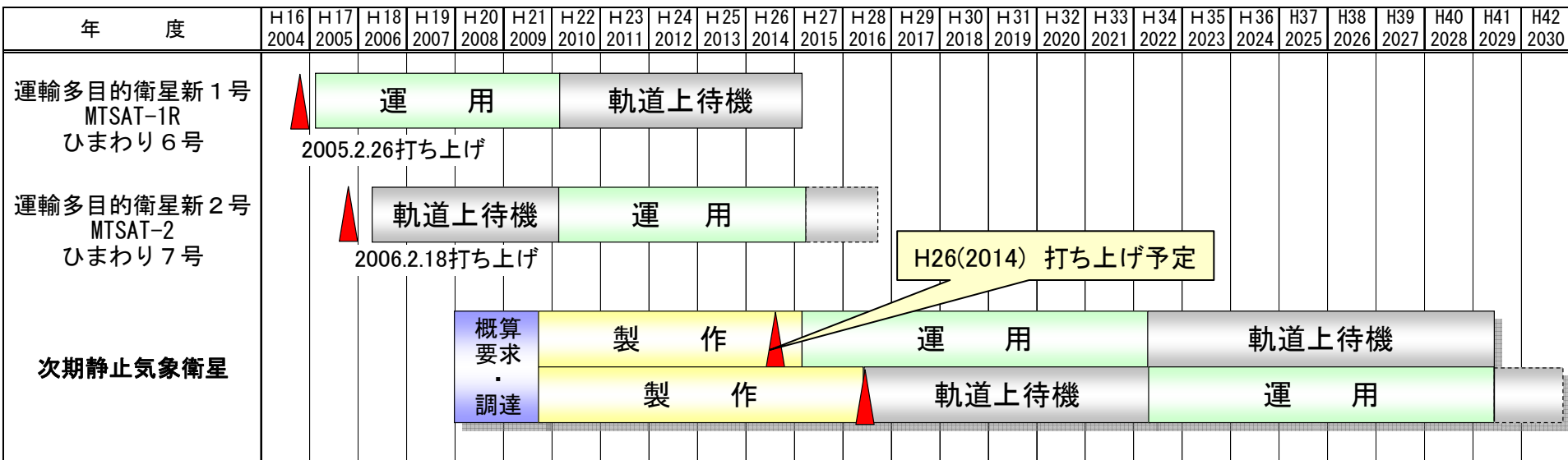
運用期間 (14年間)

(気象ミッション:運用7年+待機7年)

(注):Kuバンドは気象以外の通信サービスにも利用可能

次期静止気象衛星の整備・運用計画(予定)

- 平成21年(2009年)から次期衛星の整備に着手
- 衛星の製作期間は5年
- 平成26年(2014年)に打ち上げ
- 平成27年(2015年)から14年間運用(気象ミッションの軌道上待機期間を含む)



衛星運用期間

衛星の仕様作成(H21年6月までに)

相乗り意思決定(H20年8月までに)